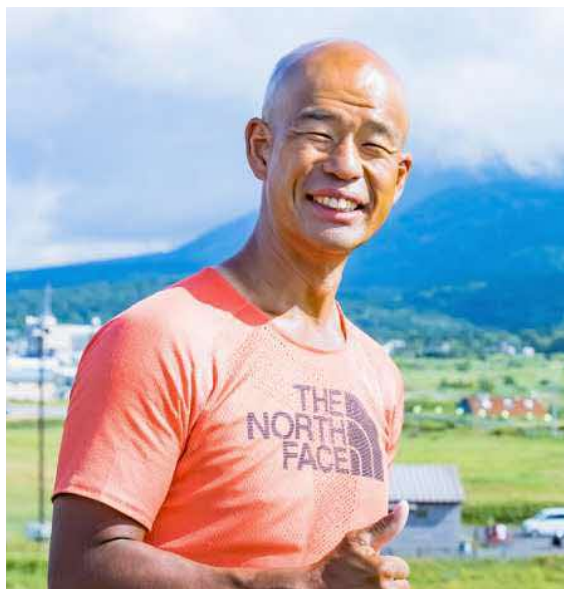




特別講演 13:30～14:20

田中 陽希

講演テーマ ヨーキ流、山との付き合い方

1983年埼玉県生まれ。6歳で北海道に移住。明治大学卒業後、アドベンチャーレースと出会い、2024年までTeam EASTWINDのメンバーとして活動。Team EASTWIND在籍時には国際レースで準優勝を4度経験。2014年、前人未到の挑戦として「日本百名山ひと筆書き」7,800kmの旅を208日と11時間で達成。2015年には「日本二百名山ひと筆書き」を222日で達成。2018年、百名山・二百名山・三百名山、計301座を繋ぎ合わせる集大成のプロジェクト「日本3百名山ひと筆書き」を、3年7ヶ月を要して完遂。現在は舞台を台湾に移し、新たな挑戦に向けて準備中。

リレー講演 14:30～15:30

講演テーマ 天然記念物が伝える災害
—布田川断層帯の活用可能性—



柴田 伊廣

(福井大学講師／元文化庁調査官)

福井大学教育学部講師。地質学・地学教育を専門に、天然記念物やジオパーク、地震断層の研究・教育に取り組む。文化庁では文化財調査官として天然記念物の保存・活用に従事。熊本地震後は「布田川断層帯」の保存・整備・活用を支援。現在は自然遺産を教材に、防災力向上と理科教員養成に取り組んでいる。

熊本地震後は「布田川断層帯」の保存・整備・活用を支援。現在は自然遺産を教材に、防災力向上と理科教員養成に取り組んでいる。

講演テーマ まちづくりとして取り組む
布田川断層帯の保存・活用



田中 尚人

(熊本大学大学院 先端科学研究部 准教授)

1971年京都府生まれ。京都大学大学院工学研究科修士後、京都大学大学院助手、岐阜大学講師を経て、2006年に熊本大学着任。2020年より現職。博士(工学)。専門は土木史、景観マネジメント、公共政策。文化的景観保全や土木遺産の保存・活用に携わる。著書に「間のまちづくり学」。

講演テーマ 自然と共に共育・共生



阿南 大吉

(株式会社シェルパ 代表取締役)

九州の登山文化の普及と環境保全に取り組む。益城町との防災協定をもとに、災害支援や登山道整備にも携わる。情報誌「ROUTE」発行などを通じ、登山による地域活性化に努めている。

地域活性化に努めている。

パネルディスカッション 15:40～16:30 「地震・火山の恵みとともに生きる未来へ」



コーディネーター | 中村 康佑 氏(一般社団法人Table共同代表)

熊本県庁土木技術職として熊本地震の災害復旧や公共事業に携わった後、益城町地域おこし協力隊を経て、現職。行政で培った視点を活かし、多様な主体をつなぎながら、まちづくりや公共プロジェクトの企画・コーディネートに取り組む。益城4座登山道整備にも参画するほか、JCGAサイクリングガイド、益城町文化財保護委員として、自然・文化・防災等の領域を横断し、人や地域、活動をつなぐフィールドや学びの場づくりを実践している。

パネリスト | 田中 陽希 氏、柴田 伊廣 氏、田中 尚人 氏、阿南 大吉 氏



オリジナルグッズ販売のお知らせ

シンポジウム当日、会場ロビーにて「益城4座」のオリジナル限定グッズを特別販売いたします。登山や普段使いにもぴったりの記念グッズです。ぜひお買い求めください！

※数に限りがございますので、売り切れの際はご容赦ください。

※売上の一部は、益城4座の登山道整備等に活用させていただきます。



益城4座 オリジナルTシャツ



特製オリジナル手ぬぐい

交通アクセスおよび駐車場のご案内

【お車でお越しの方へ】

シンポジウム当日は大変な混雑が予想されます。益城町文化会館の駐車場には限りがございますので、公共交通機関の利用、お乗り合わせでのご来場、または臨時駐車場(益城町役場)のご利用にご協力をお願いいたします。

- ① 仮駐車場(22台) ② 第二駐車場(29台) ③ 第三駐車場(36台) ④ 第四駐車場(48台)
⑤ 新規駐車場(13台) ⑥ 臨時駐車場(80台)

